

調査団報告書

調査No.40

調査内容

昭和の初めに全国に「青い目の人形」が贈られたと聞いたけど、名古屋市には何体贈られたの？
今でも残っている人形はあるのかな？

調査手順

なにに、「青い目の人形」？聞いたことはあるけど、まずは正確な知識を！ということで、事典類を見てみると、青い目の人形は、昭和 2(1927)年に日米親善を目的として贈られた約 1 万 2 千体の人形であり、返礼として 58 体の「答礼人形」が制作され、アメリカへ贈られたことが分かりました。

次に、名古屋市図書館の蔵書検索で『安城市歴史博物館研究紀要 No. 14』所収「愛知県に現存する「青い目の人形」の歩んだ道 安達覚／著」を見つけました。これは参考になりそう！でも、愛知県に現存する青い目の人形 9 体の一覧の中に名古屋市内の人形はありません。

続いて図書館ホームページの「なごやコレクション」を検索したところ、『名古屋市博物館だより』の記事 2 件がヒット。内容を確認すると、名古屋市博物館が平成 21(2009)年に開催した企画展「小栗鉄次郎」の中で青い目の人形について取り上げたとのこと。中区大須小学校保管の青い目の人形の写真 10 枚を展示したとあります。

また、当時の新聞を確認したところ、名古屋新聞の昭和 2 年 3 月 5 日号に、愛知県に 201 体の「青い目の人形」が贈られ、そのうち 101 体が名古屋市に贈られたとの記事がありました。『愛知県公報』の答礼人形の送別会に関する通知には、松坂屋で開催された送別会の代表として中区菅原尋常小(現名城小)が記されています。

調査結果

101 体の青い目の人形が名古屋市に贈られたことは分かったけれど、現存するという記述は見つけることができませんでした。でも松坂屋で歓迎会や送別会が開かれるなど名古屋の人たちに歓迎されたのは確かなよう。いつか名古屋に贈られた人形が発見されたらなあと思っていたら、ワシントンでの答礼人形公式歓迎会で贈呈役を務めた尾張徳川家二十代義知夫人・徳川正子さん愛蔵の答礼人形を小型にした市松人形が、徳川美術館で平成 28 年 4 月 10 日まで開催中の「尾張徳川家の雛祭り」で展示されていると中日新聞に掲載されていました。今回の調査で知った青い目の人形や答礼人形の歴史に思いを馳せつつ、徳川家のお雛様に会いに行こうかな。

今回の調査で使った資料

『安城市歴史博物館研究紀要 No.14』(安城市歴史博物館 2007)

『名古屋市博物館だより』通巻 188 号、191 号(名古屋市博物館 2009)

『愛知県公報』第 66 号、76 号(愛知県 1927)

『名古屋新聞縮刷版昭和 2 年 3 月オンデマンド版』(双光エシックス(制作)2011)

